

自分がかこまで成長できたのは、『セルフプロデュース』のおかげだと思っています。平岡先生に教えてもらったセルフプロデュースは、自分をプロデュースすることです。自分を客観的に見ることで、どうすれば、試合に出ることができるのか、何が得意で、それをどのようなことに生かせるの

か、など自分の良いところと悪いところを冷静に把握することが出来ます。それはサッカーだけに限らず、人生においてとても大切なことだと思っています。

二十歳になることは、大人になることです。これからは、何をするにでも自分の責任になっていきますし、多くのことに責任を持たなければいけません。サッカー選手を続けてきて、年齢を重ねていくうちにチームの中での地位が高くなってきて、責任が重くなってきました。責任を持

ちながら、信念を持って行動することはとても重要なことです。私は、高校を卒業するときに、サッカー選手になるという夢を目標に変えて、行動することで夢を実現させました。行動は、夢から目標になることで動き始めます。夢のまま終わらせないで、いろんなアプローチをしてください。そして、自分なりの信念や「こうあるべきだ」というもの見つけて、持ち続けてほしいと思います。

これから大津町のサッカーが盛り上がりつつあることを期待しています。

『有言実行』を目指す」と二十歳の自分と約束をしました。大人になることは、頑張るだけではなく、結果を出すことだと言いました。

しかし長い人生の中では、自分と交わした約束が守られなくなることもあります。そこで大切なのは、守られなかった理由を忘れずに、次に生かすことです。チャンスは、いつかまたやってくるのですから一。

東日本大震災を受けて、価値観が変化していく中で、新成人を含め、私たちは新たなスタートをしなければなりません。これからは、新成人と一緒に、大津の未来を創っていきましょう。

特集 二十歳の約束 終



巻誠一郎さん

まき・せいいちろう
熊本県宇城市（旧小川町）出身
大津高校、駒澤大学卒業後、『ジェフユナイテッド市原』（現ジェフユナイテッド市原・千葉）に入団。『アムカル・ペルミ』（ロシア）・『深圳紅鑽足球俱樂部』（中国）を経て、現在は『東京ヴェルディ』所属



大津町 スポーツ講演会 & サッカー教室



夢 を目標に変えるー。
大津高校サッカー部に所属し、サッカー選手を夢見ていた少年がいまいた。彼は、高校卒業後、その夢を目標に変えました。その目標を実現するために努力した結果、彼はリーグで活躍し、2006年には、ドイツで行われたワールドカップに出場することになります。彼の名前は、巻誠一郎。サッカーに興味がある人なら知らない人はいないでしょう。大津町のスポーツ関係団体（町体育協会・NPO法人クラブおおづ・町婦人スポーツ連絡協議会・町体育指導委員会）が連携して開催した「スポーツ講演会・サッカー教室」。今年は巻選手を迎えて、1月7日に行われました。前半は、大津のサッカー少年たちにサッカー教室を開催。午後は「夢に向かってベストをつくせ」をテーマに講演を行いました。自分がサッカー少年だったときの話から始まり「夢を諦めずに、目標にすること具体的な行動に移すことができる」などを話しました。

INTERVIEW



わたなべとさな
渡邊宙七さん
（美咲野）

お兄ちゃんがサッカーをやっていて、一緒に遊びでやっていたら楽しかったのでサッカーを始めました。ミニゲームが楽しかったです。巻選手を近くで見ることができて、とてもうれしかったです。



まつむらゆうと
松村湧斗さん
（岩坂）

お父さんがやるサッカーがカッコよかったので、サッカーを始めました。練習は辛いけど楽しいので続けています。ボールキープの練習が楽しかったです。罰ゲームの5回ジャンプも楽しかったです。



さかいしんご
坂井紳悟さん
（新）

チームのみんなとプレーするのが楽しくてサッカーを続けています。いろんな人とミニゲームをしたのが良かったです。巻選手から「うまい」って言われたのがうれしかったです。

